

20120924

2012年9月24日　日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

1. 日本テレビホールディングス発足

当社は10月1日から認定放送持株会社に移行する。9月18日に川端総務大臣より認定放送持株会社の認定証を受領した。持株会社である日本テレビホールディングスの下に、日本テレビ、BS日本、シーエス日本を含め9社が完全子会社となり、地上波、BS、CSの3波の一体的な編成、総合的な営業等、各社の強みを活かした経営を進めていく。先行して持株会社となった他社の動向等を注視しながら、年間・年度視聴率3冠王の実績、コストコントロールが効く筋肉質の経営体制になった事を1つのタイミングと捉えて移行するもので、グループ全体の企業価値を高め、さらに発展させていく観点から認定放送持株会社への移行を決定した。

2. 視聴率動向と編成戦略

・ 視聴率動向

先週は週間視聴率三冠王を獲得し、年間で15回目、年度で7回目となった。年度当初の厳しい視聴率争いの後、7月、8月と月間三冠王を獲得し、改編の手応えを感じている。年間は残り3ヶ月、年度はまだ半年あり、視聴者の皆さんとスポンサーに支持される番組製作を続けていく。

年間と年度の視聴率は現在、全日とゴールデンタイムの2冠で、今後プライムタイムの視聴率をさらに獲得するため、特番や10月新番組に期待している。各局と切磋琢磨してテレビをさらにご覧頂きながら、その中でトップになる形が理想的。

・ 10月の番組改編

火曜21時と木曜19時に新番組を配置し、ゴールデンタイム、プライムタイムの視聴率向上を目指す。平日19時台は各局とも激しい争いだが、ゴールデンタイムの入り口である19時台を整備し、その後の番組につなげて縦の流れを作っていく。

火曜21時は「解決!ナイナイアンサー」。「悩める芸能人」の「悩み」を解決するバラエティ一番組。

木曜 19 時には「快脳！マジかるハテナ」。前評判が高く、成功させたい。これは以前の人気番組「マジカル頭脳パワー!!」の内容をそのまま反映するものではない。「知識がなくても、頭の回転で答えられる」をコンセプトにした新しいクイズ番組。大人子どもの区別なく誰でも参加できるクイズで、視聴者の皆さまのコミュニケーションをより高めるのではと考えている。

・「24 時間テレビ」

最終的な募金総額は 10 月に発表する。番組終了時の募金総額は 2 億 8,240 万 4,461 円で、前年より約 4,000 万円多く寄せて頂いた。「チャリ T シャツ」の売り上げは先週までに約 75 万 9,000 枚、前年より約 46 万枚以上多くご購入頂き、過去最高となった。メイン会場である武道館の来場者は約 5 万 3,000 人で、前年より約 6,000 人多い。視聴率は歴代 5 位となる 17.2%。

東日本大震災の被災地の皆さま、障がいを持つ方々や様々な病気と闘っている方々をはじめとして、勇気づける、応援する、元気になって頂く番組として例年以上に手応えがあった。チャリティーマラソンも佐々木健介ファミリーによる家族リレーを初めて行い、新しい試みとして評価して頂けた。

日本テレビの良心とも言うべき番組として、来年以降も視聴者の皆さまに支持を頂けるよう努めていく。

3. 営業状況と放送外収入

・営業状況

放送収入は、8 月のタイムセールスが前年同月比 118.8%。ロンドンオリンピックや「第 32 回全国高等学校クイズ選手権 最強頭脳 No.1 決定戦」等の大型単発番組により売上が伸びた。ロンドンオリンピックは時差の関係もあり、前回の北京オリンピックの売上に及ばないが、目標をやや上回る水準に到達した。

スポットセールスは 8 月が前年同月比で 92.1% と地区投下率 91.4% をやや上回ったが、かなり厳しい状況。テレビ広告市況は厳しい状況。9 月の見通しも 100% に届かず、8 月と同水準見込み。国内経済、国際経済の早期回復を期待している。

・放送外収入

幹事作品の映画「おおかみこどもの雨と雪」は、7 月 21 日の公開から 65 日間で 333 万人にご覧頂き、興行収入 40 億 7,800 万円に達しており、完全オリジナルのアニメ長編作品としては異例の大ヒットといえる。細田守監督作品は今後も力を入れていきたい。

毎年恒例の映画「それいけ！アンパンマン よみがえれ バナナ島」は上映館

数が多くないものの、7月7日の公開から46万人にご覧頂き、5億円を超える興行収入でアンパンマン映画作品としては高い数字となっている。

4. その他

・読売巨人軍 セントラルリーグ優勝

ジャイアンツの優勝は率直に喜ばしい。開幕当初の厳しい状況から、早い時期の優勝を達成した事に、監督、選手や関係者に敬意を表し、お祝いを申し述べたい。今後は日本一になってくれると期待。

今後の放送予定として、クライマックスシリーズはファイナルステージの10月17日（水）から地上波放送。勝ち抜いて日本シリーズに出場すると10月27日（土）28日（日）、最終戦までもつれる場合には11月3日（土）4日（日）と地上波放送を予定。

・シリアでの邦人記者殺害

シリアで殺害されたフリージャーナリスト山本美香さんは、当社と関係が深く、自分たちの身内が亡くなったという思いで対応をさせて頂いた。フリージャーナリストの方々には、安全に配慮しつつ情熱を傾けて危険地域で取材し、様々なメディアを通じて取材内容を表現したいとの希望がある。テレビ局の事情が優先されるのではなく、そうした情熱や提供される内容が報道に値するものであれば、放送していきたい。

・今後の世界的スポーツイベントの放送

次回以降のオリンピック、ワールドカップの放送について、現時点では言及を差し控えたい。オリンピック放送は民間放送連盟とNHKが共同で取り組んでいるもので、民放連全体の対応が決まる前に当社だけが立場を表明するものではない。

一方で、従来黒字であった放送が大きな赤字になると、民間放送会社として赤字でも構わず続けると直ちに言える環境ではない。民放は常に収支を念頭に置いて事業をする立場にある。ただ個々の番組が赤字だからといって放送しない事もまたなく、赤字でも放送する番組も当然ある。1年間の決算で黒字になる事が企業の大きな目標で、個々の番組が絶対黒字でなければ放送しないという事ではない。しかし、放送権料の高騰がオリンピック放送の赤字の原因であり、放送権料がさらに高騰する事態は受け入れがたい。

(了)